



## 平成29年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドバンスクリエイト

コード番号 8798 URL <https://www.advancecreate.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 濱田 佳治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 常務執行役員 (氏名) 村上 浩一 TEL 06-6204-1193

四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年9月期第3四半期の連結業績（平成28年10月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	5,787	6.8	590	△13.8	577	△12.9	419	5.3
28年9月期第3四半期	5,420	△3.1	685	△26.6	663	△29.0	398	△21.7

(注) 包括利益 29年9月期第3四半期 442百万円 (9.8%) 28年9月期第3四半期 403百万円 (△24.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	39.54	-
28年9月期第3四半期	37.03	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第3四半期	7,040	4,219	59.9
28年9月期	6,960	4,566	65.5

(参考) 自己資本 29年9月期第3四半期 4,219百万円 28年9月期 4,561百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	-	22.50	-	25.00	47.50
29年9月期	-	22.50	-	-	-
29年9月期(予想)	-	-	-	22.50	45.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成29年9月期の連結業績予想（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,910	8.4	1,030	7.9	1,000	7.9	600	2.9	56.56

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年9月期3Q	10,999,100株	28年9月期	10,999,100株
② 期末自己株式数	29年9月期3Q	422,932株	28年9月期	280,332株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年9月期3Q	10,618,188株	28年9月期3Q	10,771,412株

期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上、控除する自己株式数には、平成26年10月1日以降に契約を締結した「従業員持株会支援信託ESOP」制度に係る信託財産として、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）が所有する当社株式及び「株式給付信託（J-ESOP）」制度に係る信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社（信託E口）が所有する当社株式を含めております。ただし、平成26年9月30日以前に契約を締結した信託が所有する当社株式については期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上、控除する自己株式数には含めておりません。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成28年10月1日～平成29年6月30日)におけるわが国経済は、企業業績の向上や雇用環境の改善により、全般的に緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、米政権の政策運営をはじめとして、中東・東アジア地域における地政学上のリスク、英国のEU離脱問題や新興国における景気下振れ懸念により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

保険業界におきましては、マイナス金利政策の影響による貯蓄性保険商品の販売停止や代理店手数料率の低下、改正保険業法に対応するための管理強化等により、厳しい営業環境が継続しております。

このような状況の下、当社グループは、保険流通改革のパイオニア企業として国内最大級の保険選びサイト「保険市場(ほけんいちば)」を主軸とする「Web to Call to Real」の一気通貫型サービスにより、お客様のあらゆる保険ニーズに対応できるプラットフォーム戦略を推進してまいりました。

国内最大級の保険選びサイト「保険市場(ほけんいちば)」は、保険情報のディストリビューターとしてさらなるお客様のユーザビリティ向上と、保険会社各社との連携強化のための進化を追求しております。

高品質な保険の比較・申込サービスを推進するために、従来のIT・システム投資のみならず、チャットボット等への自動化投資を積極的に行うとともに、効果的なWebマーケティングによりコスト効率の向上を図り、保険に対するニーズに着実にアプローチしております。

また、当社独自開発の顧客管理システムを活用したCRM戦略の一環として協業提携先とのネットワーク化を進め、万全の顧客管理と保管理体制を構築しながら、高度なお客様サービスを実現しております。

さらに、ガバナンス体制及びコンプライアンス体制の充実や情報セキュリティ体制の強化を継続し、平成28年5月施行の改正保険業法に対応した保険募集管理態勢の強化に全社的に取り組み、管理体制面においても積極的に経営資源を投下しております。

これらの取り組みの中、保険代理店事業においては、3月の駆け込み需要の反動減に対応するため、アポイント(商談機会)獲得施策に注力し、新コールセンターの創設を推し進めるなど、積極的にプロモーション活動を行ってまいりました。また、P V収入(※)の計上により、一定の収益を確保いたしました。

なお、メディア事業におきましては、スポットでの広告受注から、レギュラー広告受注へと形態が変化してきたことに伴い一時的に減収となっておりますが、引き続き好調に広告出稿をいただいております。また、再保険事業におきましては、再保険収入が引き続き順調に伸びました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,787百万円(前年同期比6.8%増)、営業利益は590百万円(前年同期比13.8%減)、経常利益は577百万円(前年同期比12.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は419百万円(前年同期比5.3%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

保険代理店事業におきましては、当第3四半期連結累計期間の営業収益は5,126百万円(前年同期比7.5%増)、営業利益は349百万円(前年同期比20.9%減)となりました。

メディア事業におきましては、当第3四半期連結累計期間の売上高は580百万円(前年同期比16.9%減)、営業利益は144百万円(前年同期比14.4%減)となりました。

再保険事業におきましては、当第3四半期連結累計期間の売上高は509百万円(前年同期比7.3%増)、営業利益は95百万円(前年同期比30.3%増)となりました。

## ※ P V収入

P V収入とは既に役務提供(保険契約の代理・媒介)が完了している保険契約に基づき将来にわたって入金される保険代理店手数料収入のうち、当該将来の手数料債権の一部を売却することにより、対価を確定させ売上高に計上するものであります。

なお、当社は、後述(追加情報)のとおり、2回目以降手数料の売上計上については、「翌1年基準」を採用しておりますが、P V収入には、翌2年目以降に回収が予定される手数料額も含まれます。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ総資産は79百万円増加し7,040百万円、負債は426百万円増加し2,821百万円、純資産は347百万円減少し4,219百万円となりました。

資産の増加の主な要因は、未収入金の増加282百万円であります。負債の増加の主な要因は、未払金の増加382百万円によるものであります。純資産の減少の主な要因は、従業員持株会支援信託ESOP導入に伴う自己株式の増加265百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月2日付の「平成29年9月期第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しました連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,047,960	935,051
受取手形及び売掛金	866,621	747,274
未収入金	1,130,985	1,413,436
繰延税金資産	61,449	49,760
その他	341,553	493,452
流動資産合計	3,448,570	3,638,974
固定資産		
有形固定資産	643,658	544,645
無形固定資産		
ソフトウェア	676,649	596,145
その他	119,009	117,756
無形固定資産合計	795,659	713,901
投資その他の資産		
投資有価証券	351,274	365,549
差入保証金	599,966	599,514
保険積立金	893,135	908,324
繰延税金資産	133,647	130,298
その他	94,734	139,557
投資その他の資産合計	2,072,758	2,143,244
固定資産合計	3,512,075	3,401,791
繰延資産	303	—
資産合計	6,960,949	7,040,765
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内償還予定の社債	100,000	—
未払法人税等	97,236	86,020
賞与引当金	114,539	77,713
代理店手数料戻入引当金	2,783	4,264
未払金	507,046	889,128
その他	848,062	817,400
流動負債合計	1,669,669	1,874,527
固定負債		
長期借入金	—	277,410
退職給付に係る負債	228,427	244,373
資産除去債務	181,371	175,569
その他	314,693	249,150
固定負債合計	724,491	946,503
負債合計	2,394,161	2,821,031

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,915,314	2,915,314
資本剰余金	352,328	352,328
利益剰余金	1,563,466	1,463,584
自己株式	△363,987	△629,680
株主資本合計	4,467,122	4,101,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	94,866	117,788
その他の包括利益累計額合計	94,866	117,788
新株予約権	4,800	400
純資産合計	4,566,788	4,219,734
負債純資産合計	6,960,949	7,040,765

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
売上高	5,420,138	5,787,097
売上原価	1,101,026	1,416,273
売上総利益	4,319,111	4,370,824
販売費及び一般管理費	3,633,865	3,780,165
営業利益	685,246	590,658
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,153	4,594
未払配当金除斥益	1,149	1,468
受取保証料	—	5,453
その他	996	1,734
営業外収益合計	7,299	13,250
営業外費用		
支払利息	7,111	4,814
支払保証料	3,373	3,118
支払手数料	16,642	17,503
その他	1,906	609
営業外費用合計	29,034	26,044
経常利益	663,512	577,864
特別利益		
投資有価証券売却益	—	51,208
新株予約権戻入益	—	4,800
特別利益合計	—	56,008
特別損失		
店舗閉鎖損失	30,863	9,339
特別損失合計	30,863	9,339
税金等調整前四半期純利益	632,649	624,533
法人税、住民税及び事業税	190,647	199,747
法人税等調整額	43,119	4,939
法人税等合計	233,766	204,686
四半期純利益	398,882	419,847
親会社株主に帰属する四半期純利益	398,882	419,847

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	398,882	419,847
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,216	22,921
その他の包括利益合計	4,216	22,921
四半期包括利益	403,099	442,769
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	403,099	442,769
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第3四半期連結累計期間において、「従業員持株会支援信託ESOP」制度の導入により、信託が当社株式を取得したこと等に伴い、自己株式が265,693千円増加しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において自己株式は629,680千円となっております。

（追加情報）

（P V収入の計上について）

当第3四半期会計期間において、既に役務提供（保険契約の代理・媒介）が完了している保険契約に基づき将来にわたって入金される保険代理店手数料収入のうち、当該将来の手数料債権の一部を売却し、P V収入として538,508千円を計上しております。

※保険代理店事業に係る売上計上について

保険代理店事業の主たる収入は保険代理店手数料収入であります。当社は、保険契約の媒介及び代理行為に伴い、各保険会社との契約及び手数料規程に基づき保険代理店手数料を受領しております。

保険代理店手数料の受領形態は、保険商品の種類（生命保険・損害保険、契約期間（1年・複数年）、保険料支払方法（年払い・月払い）、その他）、保険会社毎の契約及び規程により様々な形態があり、保険契約成立時に受領するもの（初回手数料）及び保険契約継続に応じて受領するもの（2回目以降手数料）等、これらについて一括又は分割ならびにその受領割合等が異なるものが存在しております。

当社は、初回手数料については保険契約成立時に受領する手数料額を売上計上しているほか、2回目以降手数料の一部については、複数年にわたる期間を対象とする保険契約のうち保険会社より計算結果確認書面の受領が可能である等の条件の下、翌1年の間に回収される手数料額を売上計上する翌1年基準を採用しております（一方で、将来発生する解約に備えて引当金を計上しております）。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成27年10月1日至平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	保険代理店事業	メディア事業	再保険事業			
売上高						
外部顧客への売上高	4,252,317	693,356	474,464	5,420,138	—	5,420,138
セグメント間の内部売上高 又は振替高	518,165	5,463	—	523,629	△523,629	—
計	4,770,483	698,820	474,464	5,943,768	△523,629	5,420,138
セグメント利益	441,376	169,044	73,025	683,446	1,800	685,246

(注) 1. セグメント利益の調整額1,800千円にはセグメント間取引消去1,800千円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成28年10月1日至平成29年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	保険代理店事業	メディア事業	再保険事業			
売上高						
外部顧客への売上高	4,703,394	574,558	509,144	5,787,097	—	5,787,097
セグメント間の内部売上高 又は振替高	423,420	6,086	—	429,506	△429,506	—
計	5,126,814	580,644	509,144	6,216,603	△429,506	5,787,097
セグメント利益	349,029	144,688	95,140	588,858	1,800	590,658

(注) 1. セグメント利益の調整額1,800千円にはセグメント間取引消去1,800千円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。